



## 2020年12月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年10月15日

上場会社名 株式会社 ブロンコピリー

上場取引所 東名

コード番号 3091 URL <http://www.bronco.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 竹市 克弘

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営企画部長 (氏名) 古田 光浩

TEL 052-856-4129

四半期報告書提出予定日 2020年10月23日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2020年12月期第3四半期の業績(2020年1月1日～2020年9月30日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年12月期第3四半期	12,657	25.7	83		13		581	
2019年12月期第3四半期	17,041	0.1	1,890	10.2	1,938	10.1	1,212	15.3

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年12月期第3四半期	38.58	
2019年12月期第3四半期	80.41	80.29

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2020年12月期第3四半期	24,588	17,230	69.8	1,138.68
2019年12月期	21,041	17,976	85.2	1,188.88

(参考)自己資本 2020年12月期第3四半期 17,169百万円 2019年12月期 17,926百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年12月期		12.00		12.00	24.00
2020年12月期		0.00			
2020年12月期(予想)				10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2020年12月期の業績予想(2020年1月1日～2020年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,000	23.8	100	95.8	150	93.9	450		29.84

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2020年12月期3Q	15,079,000 株	2019年12月期	15,079,000 株
-------------	--------------	-----------	--------------

期末自己株式数

2020年12月期3Q	969 株	2019年12月期	929 株
-------------	-------	-----------	-------

期中平均株式数(四半期累計)

2020年12月期3Q	15,078,067 株	2019年12月期3Q	15,074,479 株
-------------	--------------	-------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期貸借対照表 .....	4
(2) 四半期損益計算書 .....	6
第3四半期累計期間 .....	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項 .....	7
(継続企業の前提に関する注記) .....	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	7
(追加情報) .....	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（自2020年1月1日至2020年9月30日）におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の世界的な感染拡大を受け景況感は悪化、緊急事態宣言解除後の経済活動は回復基調にあるものの、依然として感染拡大の懸念があり、不透明な状況が続いております。

外食産業におきましても、新型コロナウイルス感染症対策のため臨時休業や営業時間短縮を余儀なくされました。新しい生活様式の浸透により消費者の食事スタイルも変化し、その対策のため各社がテイクアウトやデリバリーを行う他、業態転換・新業態開発を図るなど生き残りをかけた取り組みが激化しております。

こうした状況下、ご自宅で味わうことができない専門店の料理とサービスを提供する「ご馳走レストラン」を目指す当社は、緊急事態宣言発令後は外出を控えるお客様に自宅でもブロンコビリーの味を楽しみたいというニーズに応え、当社の料理をご家庭でも味わっていただくために、テイクアウトメニューの商品化に取り組みました。

緊急事態宣言解除直後の6月は「ありがとうキャンペーン」として、お客様が外食を利用する機会が増えはじめた時期にあわせて、お客様にブロンコビリーの継続利用してもらうために、6月にご来店したお客様全員に7月から12月まで6ヶ月ご利用可能な10%、20%、30%OFFと期間中3回利用できる3枚つづりの割引クーポンを配布し、お客様の来店への再習慣化を図りました。7月からは「ステーキ祭り」として、多くのお客様にステーキを食べさせていただく企画として、定番のステーキメニューの中から、期間ごとに商品を決めて割引して、お客様にブロンコビリーで専門店のステーキを食べさせていただく動機を高めました。（7月下旬から8月末まで「炭焼き極選りブローズステーキ」とニュージーランド産「オーシャンリブブローズステーキ」、「炭焼きやわらかヒレステーキ」、9月からは“ウルグアイフェア”としてウルグアイ産のサーロインステーキとヒレステーキ）

こうした取り組みやブロンコビリー情報、お値打ちクーポンをタイムリー且つ直接お客様にお届けできる自社アプリを充実させ、会員数の増加を図ってまいりました。

3月以降、新型コロナウイルス感染防止のための行政機関等からの要請に応じて、当社も臨時休業と営業時間短縮を実施し、従業員のマスク着用と健康管理の徹底、店舗の消毒等安全確保にも取り組んでおります。人気のサラダバーを継続的に安心してお楽しみいただくために、飛沫感染対策用の「スニーズガード」というカバーを全店に設置いたしました。一方で、従業員の雇用維持をしながら、お客様の来店状況に合わせた食材発注と人員配置を図り、食品ロスの防止や生産性改善と固定費の削減にも取り組んでまいりました。

店舗面では、2月に不採算店を1店舗閉鎖、コロナ禍における収益への影響対策と今後の営業環境を鑑みて8月に1店舗閉鎖し132店舗となりました。なお、9月30日に4店舗を閉鎖しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は126億57百万円（前年同期比25.7%減）、営業損失83百万円（前年同期営業利益18億90百万円）、経常損失13百万円（前年同期経常利益19億38百万円）、四半期純損失5億81百万円（前年同期四半期純利益12億12百万円）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ①資産、負債及び純資産の状況

##### （資産）

当第3四半期会計期間末の資産合計は245億88百万円（前事業年度末210億41百万円）となり35億47百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が新型コロナウイルス感染症の長期化に備え50億円の資金を借入れたことにより43億81百万円増加した一方、有形固定資産が減損損失及び減価償却費の計上により7億73百万円減少したこと等によります。

##### （負債）

当第3四半期会計期間末の負債合計は73億58百万円（前事業年度末30億65百万円）となり42億92百万円増加いたしました。その主な要因は、長期借入金が新型コロナウイルス感染症の長期化に備え50億円増加した一方、未払金が2億17百万円及び未払法人税等が4億40百万円減少したこと等によります。

##### （純資産）

当第3四半期会計期間末の純資産合計は172億30百万円（前事業年度末179億76百万円）となり7億45百万円減少し、自己資本比率は69.8%（前事業年度末85.2%）となりました。その主な要因は、四半期純損失の計上と配当金の支払い等により利益剰余金が7億62百万円減少したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2020年7月15日の「業績予想の修正並びに剰余金の配当(中間配当)及び期末配当予想の修正に関するお知らせ」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,159,688	11,541,375
売掛金	347,286	279,370
商品及び製品	107,174	67,573
原材料及び貯蔵品	585,474	394,668
未収還付法人税等	-	328,339
その他	221,424	229,069
流動資産合計	8,421,048	12,840,397
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	6,703,385	6,142,476
構築物（純額）	726,100	666,940
工具、器具及び備品（純額）	662,128	520,469
土地	1,683,862	1,683,862
その他（純額）	165,835	153,848
有形固定資産合計	9,941,312	9,167,598
無形固定資産	168,284	206,429
投資その他の資産		
長期預金	1,000,000	1,000,000
差入保証金	1,077,743	1,026,196
その他	433,485	348,353
投資その他の資産合計	2,511,228	2,374,549
固定資産合計	12,620,825	11,748,577
資産合計	21,041,873	24,588,974
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	536,779	365,431
短期借入金	110,136	166,734
リース債務	16,950	16,950
未払金	882,095	664,915
未払法人税等	440,530	-
賞与引当金	42,693	148,056
販売促進引当金	20,589	152,545
その他	408,148	259,368
流動負債合計	2,457,922	1,774,001
固定負債		
長期借入金	-	5,000,000
リース債務	227,092	214,379
資産除去債務	367,008	356,379
その他	13,428	13,287
固定負債合計	607,529	5,584,045
負債合計	3,065,451	7,358,047

（単位：千円）

	前事業年度 (2019年12月31日)	当第3四半期会計期間 (2020年9月30日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,210,667	2,210,667
資本剰余金	2,120,664	2,120,664
利益剰余金	13,582,539	12,819,835
自己株式	△1,608	△1,700
株主資本合計	17,912,262	17,149,466
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	13,775	19,589
評価・換算差額等合計	13,775	19,589
新株予約権	50,384	61,871
純資産合計	17,976,421	17,230,927
負債純資産合計	21,041,873	24,588,974

（2）四半期損益計算書  
（第3四半期累計期間）

（単位：千円）

	前第3四半期累計期間 （自 2019年1月1日 至 2019年9月30日）	当第3四半期累計期間 （自 2020年1月1日 至 2020年9月30日）
売上高	17,041,049	12,657,892
売上原価	4,638,420	3,564,133
売上総利益	12,402,629	9,093,759
販売費及び一般管理費	10,512,580	9,176,810
営業利益又は営業損失（△）	1,890,049	△83,050
営業外収益		
受取利息	3,215	4,097
受取配当金	1,145	2,042
受取賃貸料	14,295	21,103
協賛金収入	48,631	45,000
その他	7,779	23,356
営業外収益合計	75,066	95,600
営業外費用		
支払利息	324	4,039
賃貸費用	18,276	18,874
その他	8,252	2,810
営業外費用合計	26,853	25,724
経常利益又は経常損失（△）	1,938,262	△13,175
特別利益		
固定資産売却益	-	1,137
補助金収入	-	114,051
特別利益合計	-	115,189
特別損失		
固定資産除売却損	2,478	3,346
減損損失	109,910	305,409
投資有価証券評価損	8,096	12,809
店舗休止損失	-	250,185
特別損失合計	120,485	571,751
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失（△）	1,817,777	△469,737
法人税、住民税及び事業税	658,665	47,348
法人税等調整額	△53,038	64,680
法人税等合計	605,627	112,028
四半期純利益又は四半期純損失（△）	1,212,149	△581,766



(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、店舗の休業および営業時間の短縮等により来客数が減少し業績に大きな影響を受けております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期等を正確に予測することは困難な状況ではありますが、本感染症の影響につきましては、現時点で入手可能な情報や予測等に基づき、2020年12月期第3四半期以降徐々に回復に向かうと想定し、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。